福 島 県 内 経 済 情 勢 報 告

令 和 8 年 10 月

財 務 省 東 北 財 務 局
福 島 財 務 事 務 所

目　次

ページ

1. 総　　論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2. 個 人 消 費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

3. 生 産 活 動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

4. 雇 用 情 勢 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

5. 設 備 投 資 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

6. 企 業 収 益 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

7. 企業の景況感 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

8. 住 宅 建 設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

9. その他項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

1. 総論

【総括判断】　「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項　　目	前回(8年7月判断)	今回(8年10月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	**持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている**	

(注)8年10月判断は、前回8年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回るなど、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、輸送機械で海外向けの需要が堅調となっているなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

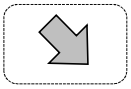
【各項目の判断】

項　　目	前回(8年7月判断)	今回(8年10月判断)	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	**持ち直しのテンポが緩やかになっている**	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	**緩やかに持ち直しつつある**	
雇用情勢	持ち直しのテンポが緩やかになっている	**持ち直しのテンポが緩やかになっている**	
設備投資	8年度は増加見込み	**8年度は増加見込み**	
企業収益	8年度は増益見込み	**8年度は増益見込み**	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大	**「下降」超幅が拡大**	
住宅建設	前年を下回っている	**前年を上回っている**	
公共事業	前年度を下回っている	**前年度を上回っている**	

【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善や各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2.個人消費　…　持ち直しのテンポが緩やかになっている



(1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
(2) コンビニエンスストア販売額は、米飯等が低調となっていることから、前年を下回っている。
(3) ドラッグストア販売額は、日用品が好調となっていることから、前年を上回っている。
(4) ホームセンター販売額は、園芸用品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
(5) 家電大型専門店販売額は、パソコンが低調となっていることから、前年を下回っている。
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、普通車等が好調となっていることから、前年を上回っている。
(7) 旅行は、宿泊が増加していることから、好調となっている。

～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○気温の上昇が鈍かったことから、前年は猛暑により好調だった飲料やアイスなどの夏物商品が低調となった。
○様々な商品が値上がりする中、より安価なプライベートブランド商品を選ぶ消費者が増えている。
（百貨店・スーパー）

○雨の日が多くレジャー等の機会が減ったことから、弁当やおにぎりなどの売上げが落ち込んだ。
○キャラクターくじ等話題性の高い商品は好調に推移している一方で、物価高を背景とした節約志向によりついで買いは減少傾向にある。
（コンビニエンスストア）

○ティッシュペーパーや洗剤などの生活必需品は、商品が値上がりする中でも購買点数が変わらないことから、売上げが増加している。
○徳用商品から必要量の商品へ購入を切り替えるなど、1回当たりの支出額を抑える動きがみられる。
（ドラッグストア）

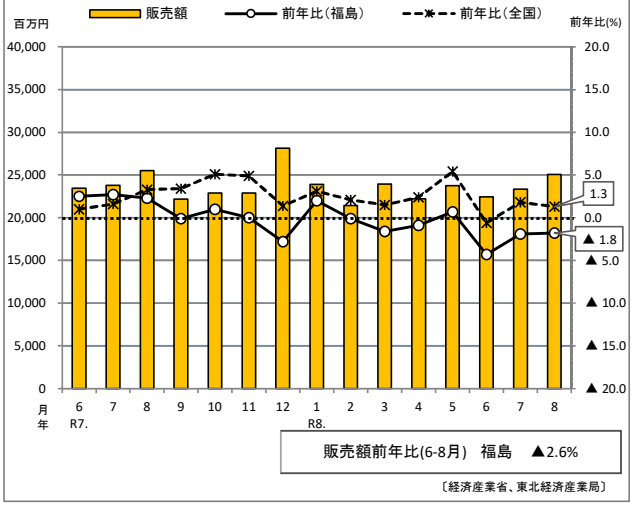
○例年より梅雨明けが遅れたことで、園芸用品等の販売が伸び悩んだ。
○新米価格の下落に伴う収入減少を見込んで、農業資材等を買い控える動きがみられる。
（ホームセンター）

○前年の一部OSのサポート終了に伴う買い替え需要の反動により、パソコンが低調となった。
○令和9年4月からの省エネ基準引上げや福島県の購入応援キャンペーンによりエアコンは好調に推移したものの、6月は天候不順により肌寒い日が続き、売上げが一時的に減少した。
（家電）

○新型車の発売に加え、国の補助金が後押しとなり電気自動車が好調となった。
○車両価格の上昇や基本性能の向上により最も安価なグレードを選択する消費者が多い一方で、高価格・高グレードの需要も底堅く、消費者の二極化が進んでいる。
（自動車販売）

○福島県の宿泊割引制度の利用が堅調に推移しており、宿泊者数の増加に寄与している。
○訪日外国人旅行客は増加傾向にあり、個人旅行については連泊して楽しむ様子もみられる。
（旅行）

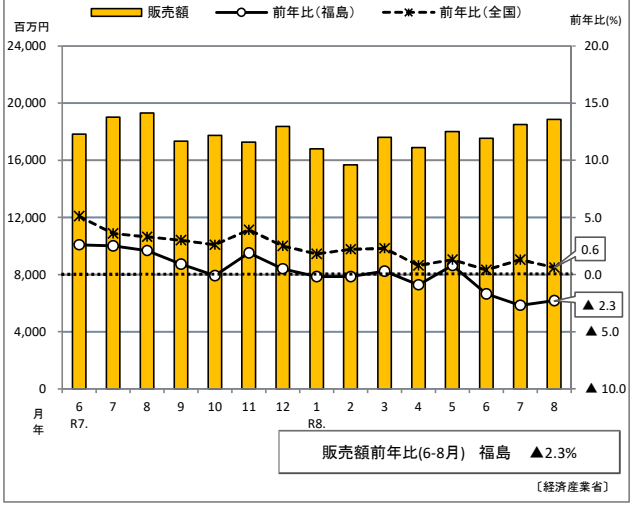
百貨店・スーパー販売額



販売額前年比(6-8月)　福島　▲2.6%

〔経済産業省、東北経済産業局〕

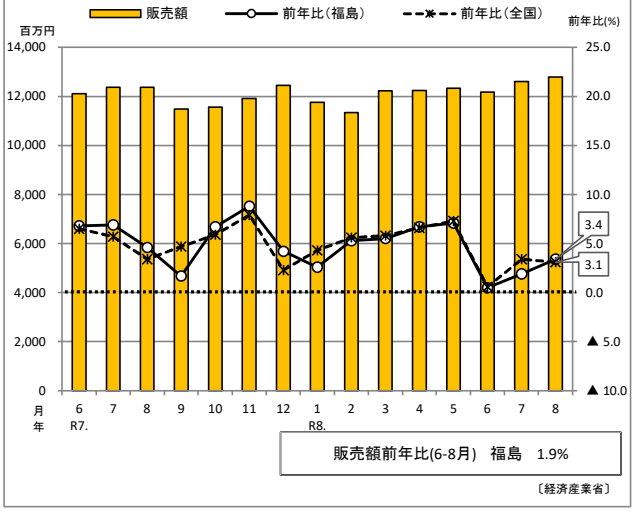
コンビニエンスストア販売額



販売額前年比(6-8月)　福島　▲2.3%

〔経済産業省〕

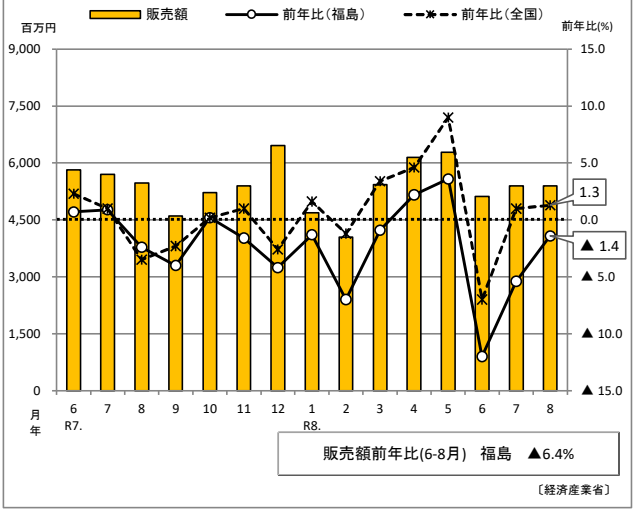
ドラッグストア販売額



販売額前年比(6-8月)　福島　1.9%

〔経済産業省〕

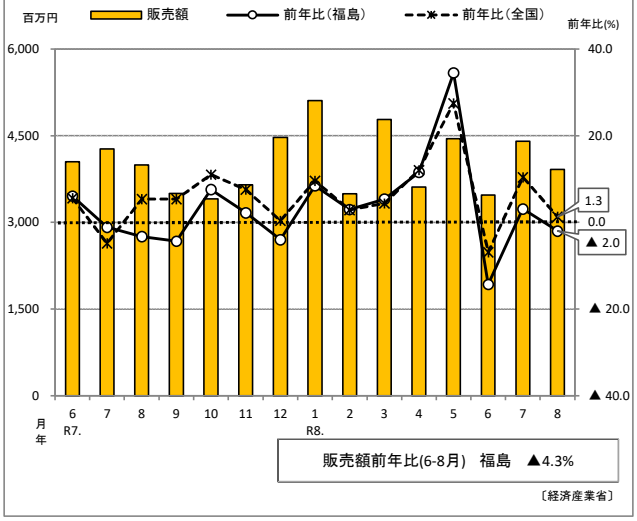
ホームセンター販売額



販売額前年比(6-8月)　福島　▲6.4%

〔経済産業省〕

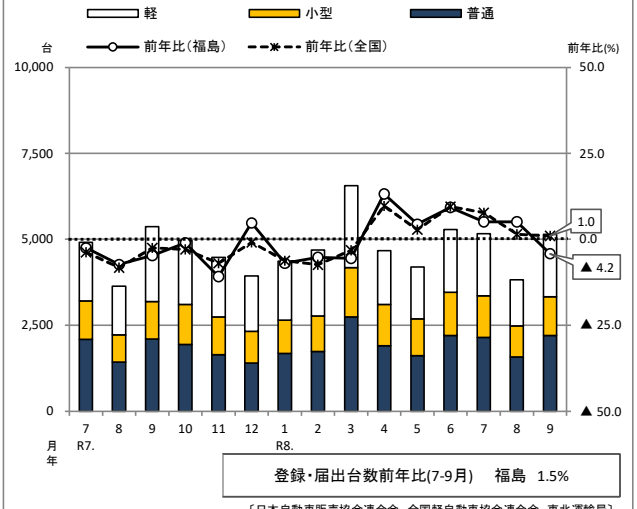
家電大型専門店販売額



販売額前年比(6-8月)　福島　▲4.3%

〔経済産業省〕

乗用車新車登録・届出台数



登録･届出台数前年比(7-9月)　福島　1.5%

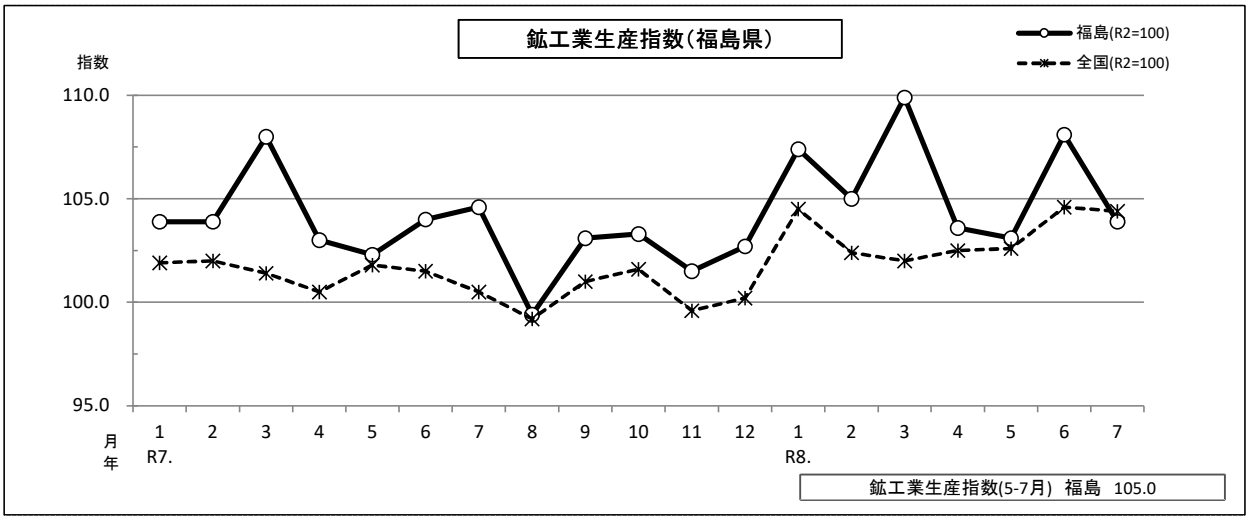
〔日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、東北運輸局〕

3. 生産活動　…　緩やかに持ち直しつつある

(1) 化学は、日用品向けの需要に一服感があることから、減少している。
(2) 汎用・生産用・業務用機械は、海外の動向等による影響がみられることから、足踏みの状況にある。
(3) 電子部品・デバイスは、在庫積み増し等の動きが出てきていることから、緩やかに持ち直しつつある。
(4) 輸送機械は、海外向けの需要が堅調となっていることから、緩やかに回復している。

～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

○日用品向けは、中東情勢の影響を受けた買いだめ需要が足下では落ち着き、一服感がある。
○データセンター向けは引き続き堅調であるものの、世界的に伸長する分野であることから、競合他社との競争が激しくなっている。（化学）
○米国向けについて、関税の上乗せに加えインフレの影響により、最終製品の価格が上昇し、現地の需要が想定より鈍化している。
○AI（人工知能）需要に伴う半導体関連部品の供給不足によって調達に遅れが生じていることから、自社製品の生産状況にも影響が 出始めている。（汎用・生産用・業務用機械）
○不安定化する中東情勢やAI（人工知能）市場の拡大を背景に、取引先の半導体メーカーが原材料を安定確保するため、在庫積み増しや長期契約による継続調達の動きを強めていることから、受注が増えている。
○活発化するAI（人工知能）需要を取り込むため、設備投資を行って今期から増産しており、更に生産量を拡大していく予定としている。（電子部品・デバイス）
○米国向けについては、一部車種で好調な状況が続いていることから、生産能力を上げている。
○中東向けは、現地需要が情勢緊迫化以前と変わらず堅調であり、物流面でも代替ルートを確保していることから、生産量は以前の水準に戻りつつある。（輸送機械）



鉱工業生産指数（福島県、季節調整済、R2=100）

区　分	総　合 (*Wt=10, 000*)		化　学	汎用・生産用・業務用機械	電子部品・ﾃﾞﾊﾞｲｽ	輸送機械
	指　数	前年比%	*1,214.3*	*1,152.5*	*1,117.1*	*1,032.7*
7　年	103.3	▲ 2.7	126.6	89.1	104.1	178.8
7. 7-9	102.4	－	126.0	86.5	105.3	172.2
10-12	102.5	－	130.1	85.1	106.3	186.8
8. 1-3	107.4	－	138.1	87.4	107.7	217.5
4-6	104.9	－	130.2	87.4	103.3	221.6
8. 1	107.4	1.6	139.3	93.1	103.5	190.1
2	105.0	1.1	122.8	84.4	107.5	231.9
3	109.9	3.6	152.1	84.8	112.1	230.4
4	103.6	0.6	135.9	87.0	103.3	197.0
5	103.1	▲ 2.0	118.0	86.3	99.3	230.1
6	108.1	5.7	136.7	89.0	107.2	237.7
7	103.9	▲ 0.6	142.9	81.1	107.5	199.4
8. 1-4	106.5	－	137.5	87.3	106.6	212.4
8. 5-7	105.0	－	132.5	85.5	104.7	222.4

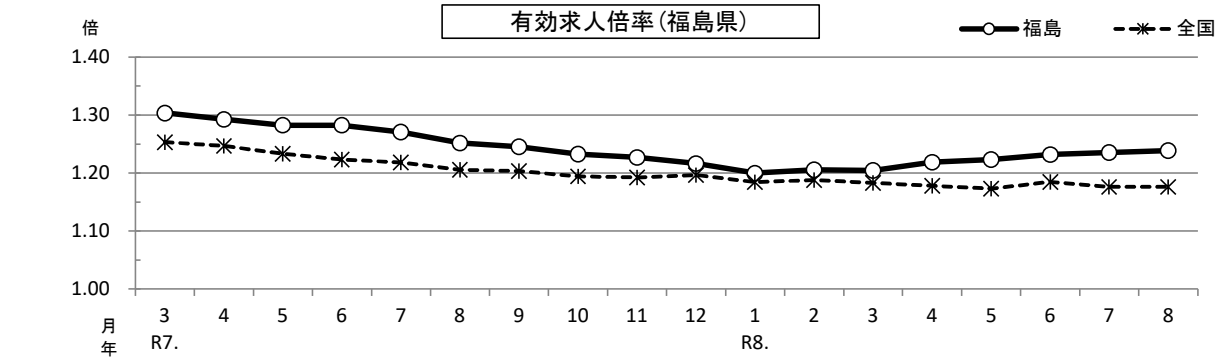
（注）1. 前年比は原指数。　〔福島県〕
2. 最終月は速報値。
3. 7年分は年間補正後。
4. 8. 1-4、8. 5-7は今回の分析上参考とした期間。

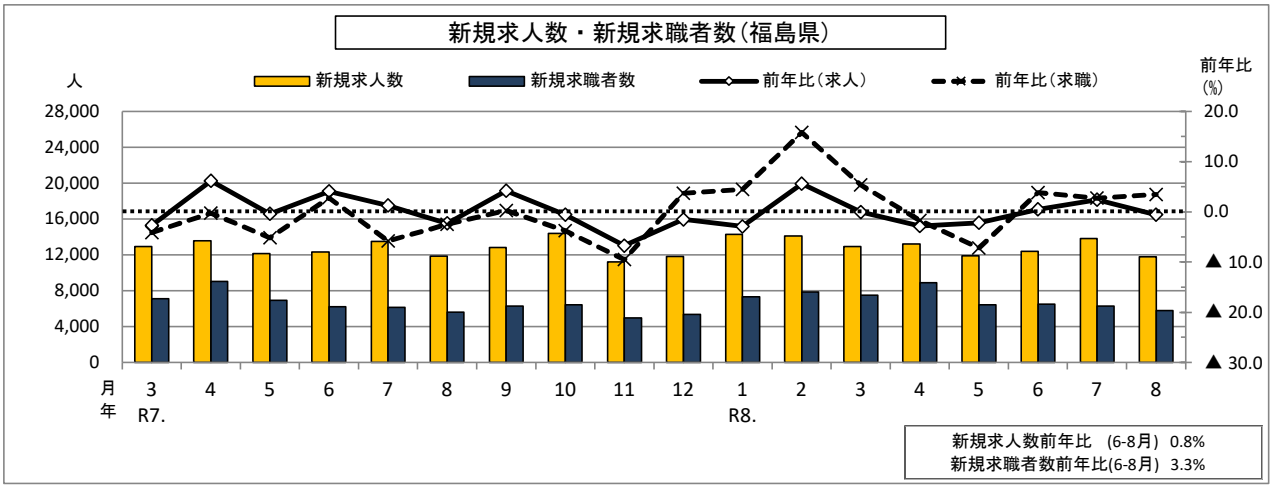
4. 雇用情勢　…　持ち直しのテンポが緩やかになっている

(1) 有効求人倍率は、おおむね横ばいとなっている。
(2) 新規求人数は、製造業等で増加していることから、前年を上回っている。
(3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
(4) 事業主都合離職者数は、前年を上回っている。
(5) 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

～ 〈参考〉 ～

○物価高の進行など経済情勢の不安を背景に、在籍企業の処遇改善の動きも勘案しながら、在職したまま転職活動を行う動きが足下で広がっている。 (公的機関)
○人手不足により求人を出すものの応募がない状況を踏まえ、外国人材を更に活用したいと考えているが、足下では以前よりも集まりにくくなっている。 (製造業)
○今年度完全週休2日制を導入したことにより、就職情報サイトの条件検索で自社が抽出される機会が増え、採用希望者が例年より多くなっている。 (非製造業)





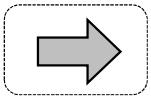
雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率(季節調整済)	新規求人数		新規求職者数		事業主都合離職者数		雇用保険受給者実人員	
	倍	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
7 年	1.26	12,888	▲ 0.5	6,493	▲ 3.7	4,891	▲ 19.7	6,366	1.7
7. 7-9	1.26	12,720	1.1	6,008	▲ 2.7	1,073	▲ 21.0	7,407	6.4
10-12	1.23	12,481	▲ 2.8	5,589	▲ 3.4	853	▲ 29.2	6,659	7.8
8. 1-3	1.20	13,772	0.7	7,553	8.4	1,378	24.5	5,912	7.8
4-6	1.22	12,482	▲ 1.6	7,268	▲ 1.9	2,293	23.4	6,652	12.5
8. 3	1.20	12,927	▲ 0.1	7,502	5.3	441	7.6	6,084	17.0
4	1.22	13,202	▲ 2.8	8,881	▲ 1.7	1,538	37.1	6,096	15.0
5	1.22	11,875	▲ 2.2	6,441	▲ 7.2	336	▲ 10.4	6,166	4.9
6	1.23	12,370	0.4	6,483	3.8	419	16.1	7,694	17.3
7	1.24	13,806	2.4	6,303	2.7	480	8.4	7,530	1.2
8	1.24	11,782	▲ 0.6	5,800	3.4	388	11.8	7,214	▲ 0.7
8. 6-8	－	12,653	0.8	6,195	3.3	1,287	11.8	7,479	5.5

(注)1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。
2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。
3. 7年12月以前の有効求人倍率は改定値。
4. 8. 6-8は今回の分析上参考とした期間。

〔厚生労働省、福島労働局〕

5.設備投資　…　8年度は増加見込み



法人企業景気予測調査(8年7-9月期調査)でみると、8年度は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

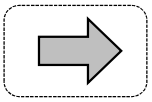
設備投資　　(前年度比増減率:%)

区　分	製 造 業	非製造業	全 産 業
8 年 度	(17.4) 32.5	(4.7) 9.3	(9.5) 18.2

(注)1.ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。
　　2.( )書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(8年7-9月期調査)」〕

6.企業収益　…　8年度は増益見込み



法人企業景気予測調査(8年7-9月期調査)でみると、8年度は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。

経常利益　　(前年度比増減率:%)

区　分	製 造 業	非製造業	全 産 業
8 年 度	(7.9) 8.7	(0.9) ▲ 6.3	(5.0) 2.0

(注)1.電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。
　　2.( )書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(8年7-9月期調査)」〕

7. 企業の景況感　…　現状は「下降」超幅が拡大
先行きは8年10～12月期に「上昇」超に転じ、
9年1～3月期に「下降」超に転じる見通し

法人企業景気予測調査(8年7-9月期調査)の企業の景況判断BSIでみると、現状(7～9月)は、全産業では「下降」超幅が拡大している。
先行きは、8年10～12月期に「上昇」超に転じ、9年1～3月期に「下降」超に転じる見通しとなっている。

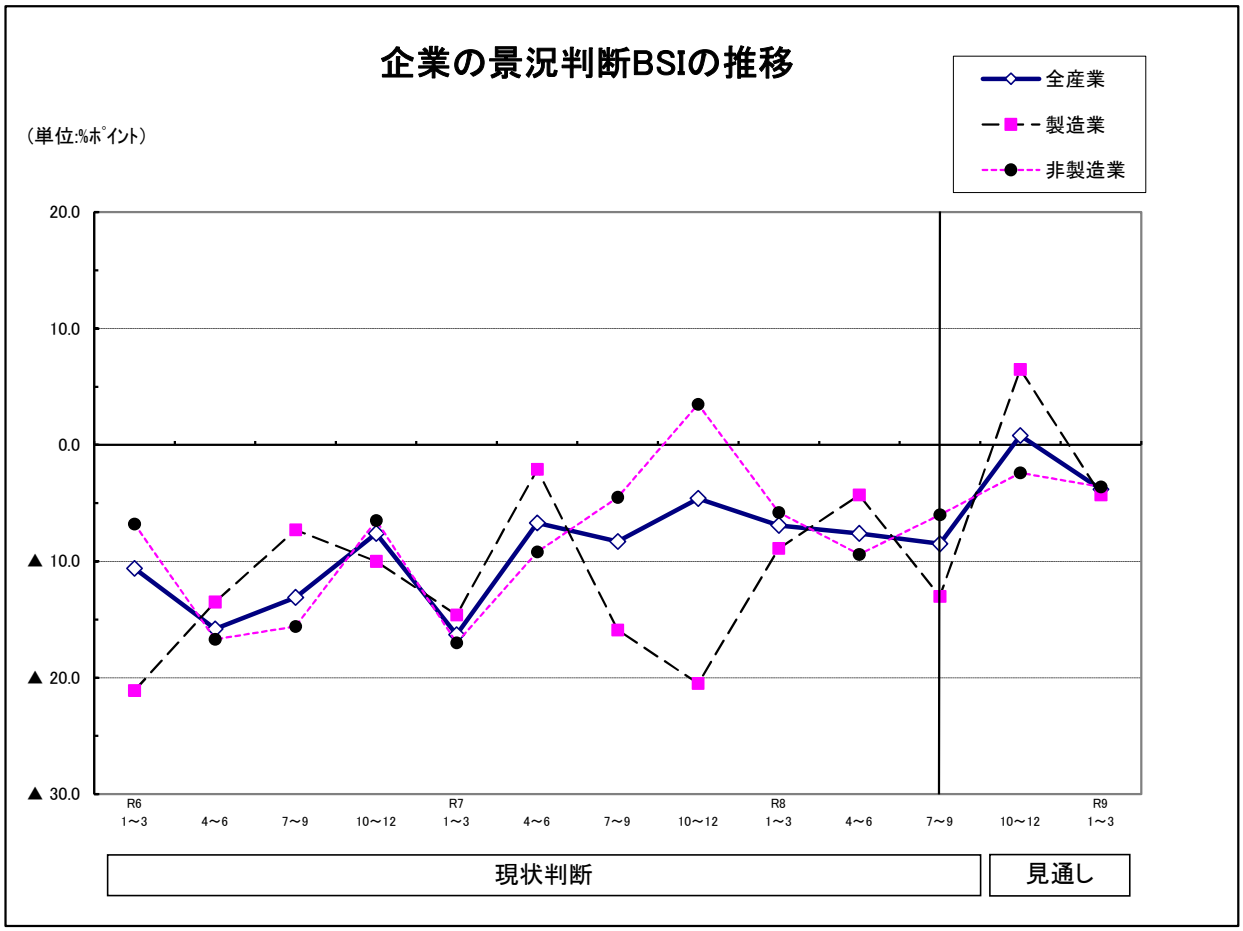
企業の景況判断BSI　【原数値】

（前期比「上昇」-「下降」社数構成比）　（単位:%ポイント）

区　分	8年4～6月 (8年4-6月期調査)	8年7～9月 現　状　判　断	8年10～12月 見　通　し	9年1～3月 見　通　し
全　産　業	(　▲　7.6)	(　4.6) ▲　8.5	(　▲　0.8) 0.8	▲　3.8
製　造　業	(　▲　4.3)	(　10.9) ▲　13.0	(　▲　6.5) 6.5	▲　4.3
非　製　造　業	(　▲　9.4)	(　1.2) ▲　6.0	(　2.4) ▲　2.4	▲　3.6

(注)(　)書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所　「法人企業景気予測調査(8年7-9月期調査)」〕

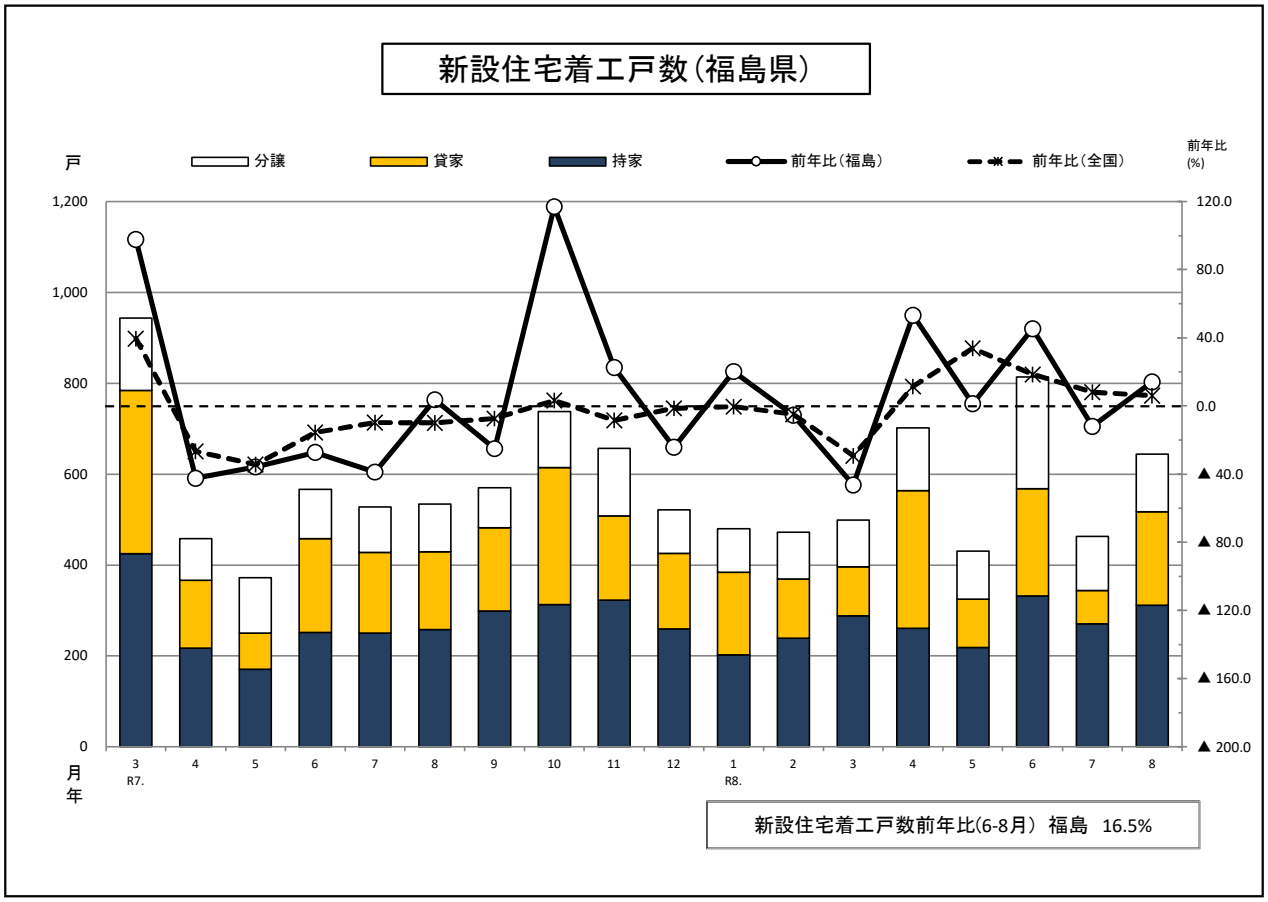


BSI(Business Survey Index)の計算法

*BSI=(「上昇」と回答した企業の構成比)-(「下降」と回答した企業の構成比)

8. 住宅建設　…　前年を上回っている

新設住宅着工戸数でみると、貸家が前年を下回っているものの、持家、分譲が前年を上回っていることから、全体としては、前年を上回っている。



新設住宅着工戸数(福島県)

区　分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%	前年比%		
7　年	6,880	▲ 8.5	▲ 9.8	▲ 7.2	▲ 10.0
7. 7-9	1,665	▲ 23.2	▲ 16.0	▲ 35.7	▲ 22.1
10-12	1,918	22.6	14.2	76.0	▲ 4.4
8. 1-3	1,462	▲ 20.8	▲ 17.3	▲ 34.6	▲ 5.6
4-6	1,958	34.9	26.7	48.8	52.2
8. 3	507	▲ 46.3	▲ 32.2	▲ 69.9	▲ 35.6
4	703	53.2	20.3	103.4	50.0
5	431	1.4	27.5	35.4	▲ 13.1
6	824	45.3	31.7	14.6	127.8
7	465	▲ 11.9	8.4	▲ 59.0	19.0
8	647	14.1	20.9	19.9	21.0
8. 6-8	1,936	16.5	20.4	▲ 7.4	57.2

(注)8. 6-8は今回の分析上参考とした期間。　〔国土交通省〕

9. その他項目

(1) 公共事業

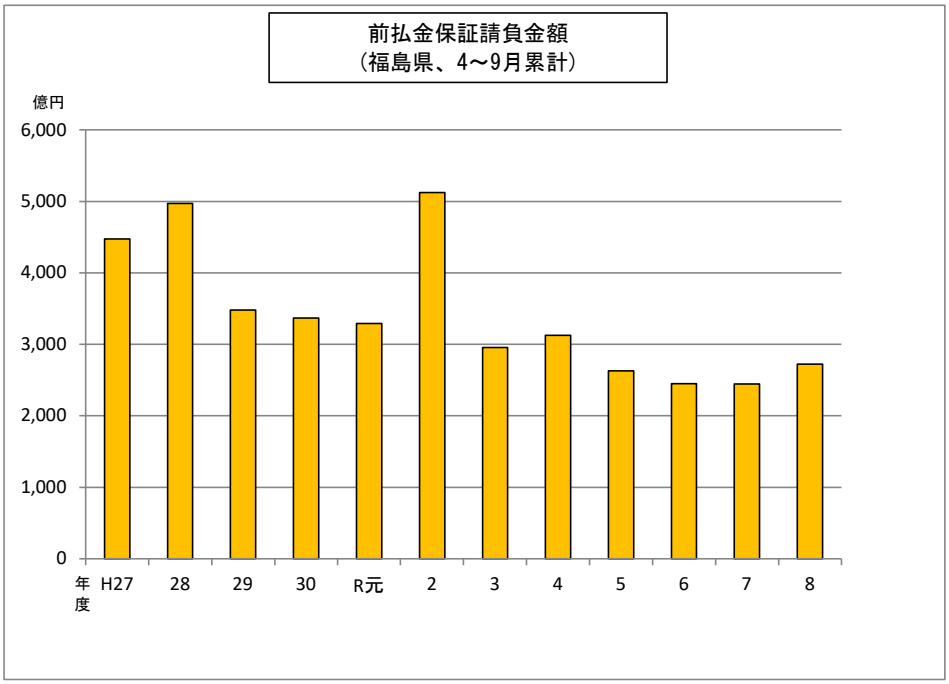
公共工事前払金保証請負金額(累計)でみると、前年度を上回っている

前払金保証請負金額
(福島県、4～9月累計)

区　分	前払金保証請負金額	
	億　円	前年同期比％
27　年度	4,476	▲ 21.9
28　年度	4,972	11.1
29　年度	3,478	▲ 30.0
30　年度	3,364	▲ 3.3
元　年度	3,290	▲ 2.2
2　年度	5,122	55.7
3　年度	2,953	▲ 42.3
4　年度	3,125	5.8
5　年度	2,628	▲ 15.9
6　年度	2,449	▲ 6.8
7　年度	2,442	▲ 0.3
8　年度	2,721	11.4

(注)国、独立行政法人等、県、市町村 等の合計。

〔東日本建設業保証(株)ほか〕



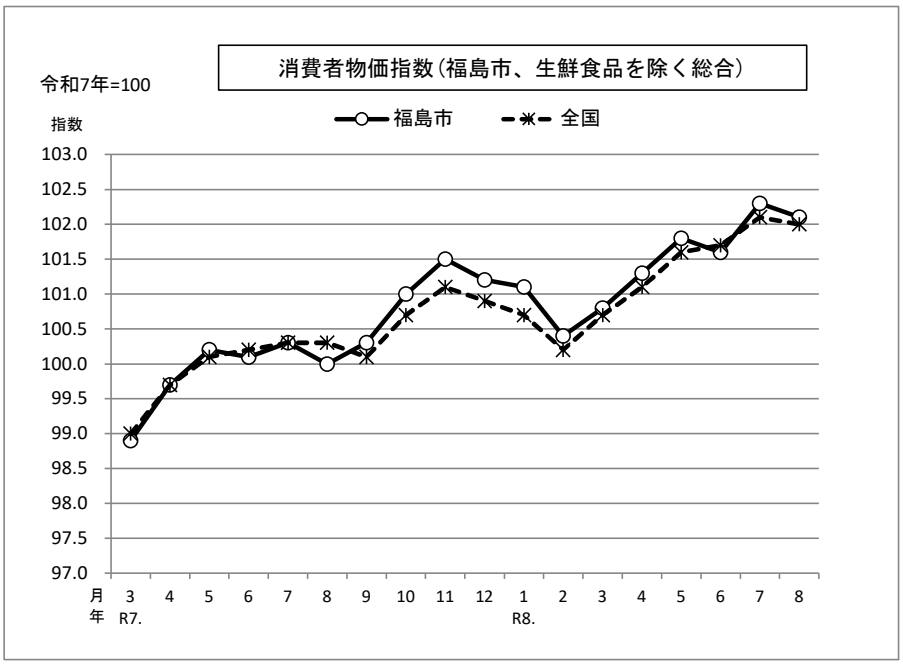
(2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価　(令和7年=100)

区　分	福島市 生鮮食品を除く総合	
	指　数	前年比％
7　年	100.0	2.9
7.　7-9	100.2	2.8
10-12	101.2	3.1
8.　1-3	100.8	2.2
4-6	101.6	1.6
8.　3	100.8	1.9
4	101.3	1.6
5	101.8	1.6
6	101.6	1.6
7	102.3	2.0
8	102.1	2.1

〔総務省〕



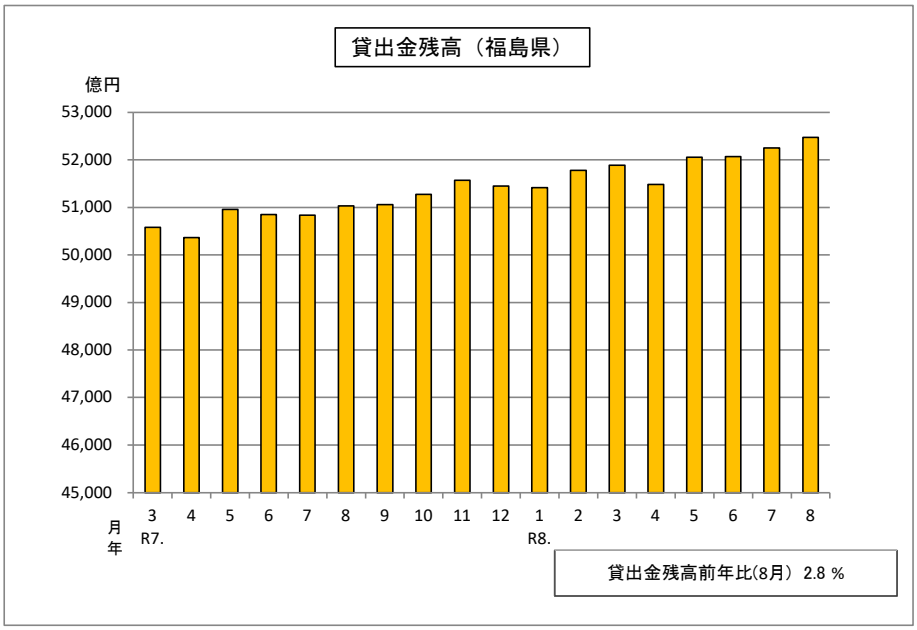
(3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区　分		貸　出　金 月末残高(億円)
8.	1	51,418
	2	51,777
	3	51,884
	4	51,482
	5	52,059
	6	52,070
	7	52,248
	8	52,474

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(全店分)ベース
なお、銀行については、オフショア勘定及び
中央政府向け貸出を除く。
〔日本銀行福島支店〕



(4) 企業倒産

件数は前年を上回っており、負債総額は前年を下回っている

企業倒産件数・負債総額(福島県)

区　分		件　数		負　債　総　額	
		件	前 年 比 %	百万円	前 年 比 %
7	年	105	▲ 13.9	17,446	2.3
7.	10-12	26	▲ 10.3	3,379	3.6
8.	1-3	22	▲ 24.1	34,588	1,253.2
	4-6	18	▲ 25.0	1,383	▲ 69.5
	7-9	37	42.3	6,242	▲ 10.6
8.	4	6	▲ 14.3	651	51.7
	5	4	▲ 60.0	103	▲ 97.2
	6	8	14.3	629	37.3
	7	19	111.1	1,723	▲ 64.7
	8	9	12.5	3,299	297.0
	9	9	0.0	1,220	▲ 3.9

〔(株)東京商工リサーチ〕

